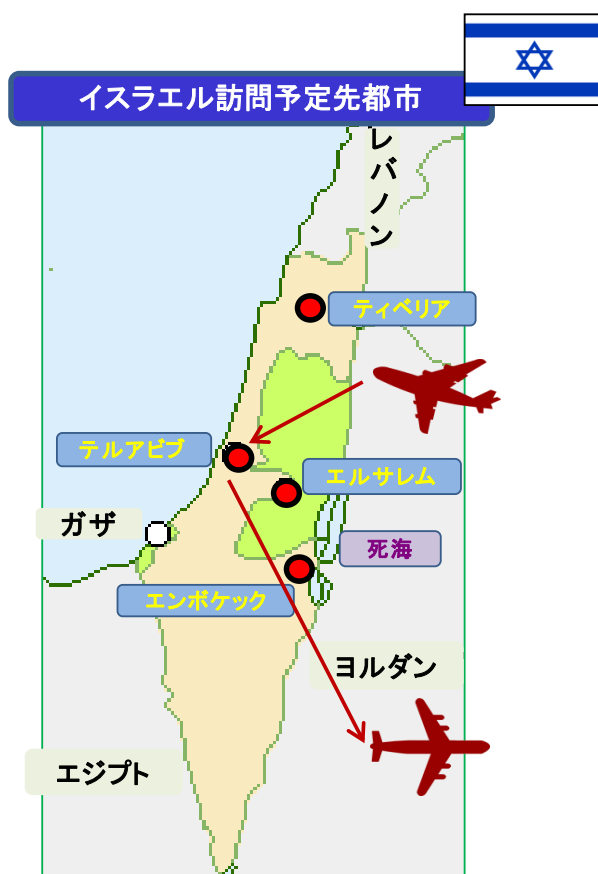


2014 イスラエル施設園芸現地研修ツアー

《研修期間：2014年11月22日（土）～28日（金）》

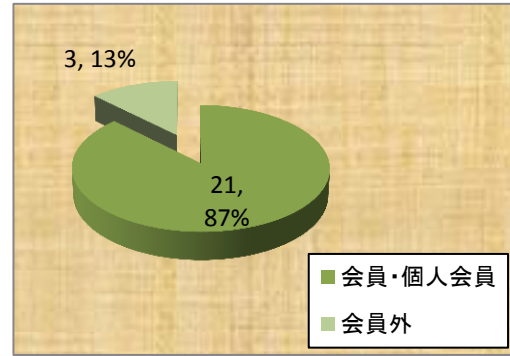
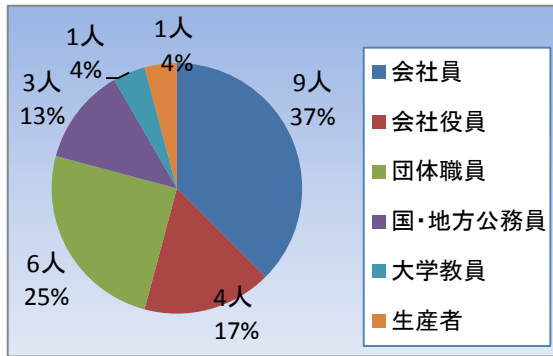
参加者アンケート回答結果



旅行企画・主催：一般社団法人 日本施設園芸協会

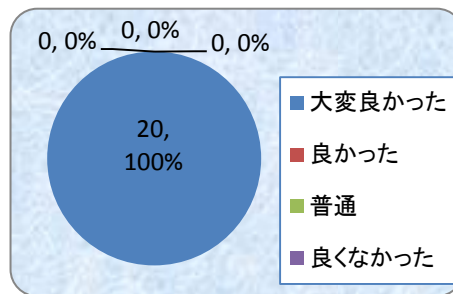
●『2014 イスラエル施設園芸現地研修ツアー』参加者アンケート回答結果

※本ツアーの参加者は、下記のとおり



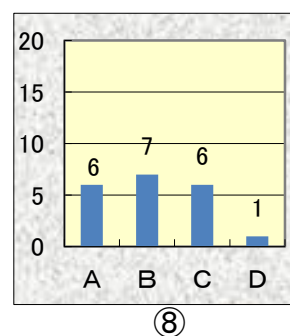
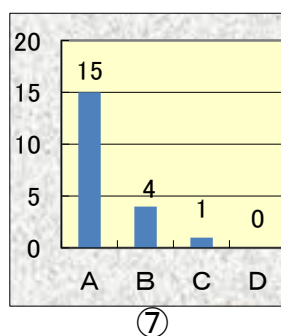
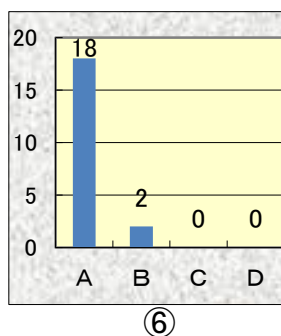
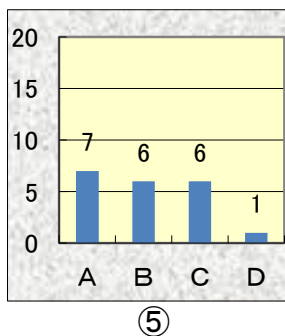
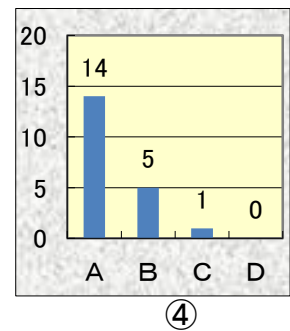
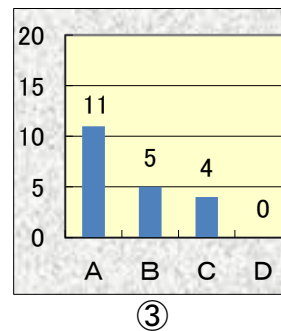
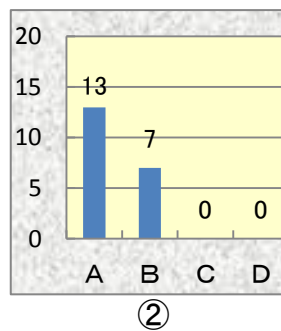
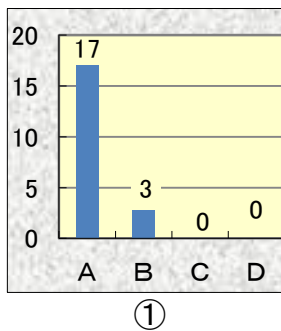
【問1】 今回の「2014 イスラエル施設園芸現地研修ツアー」に参加して全体の感想は、いかがですか？

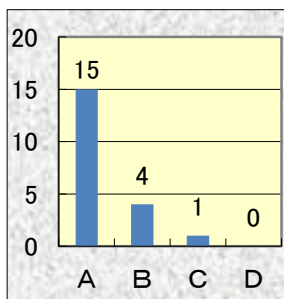
- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった



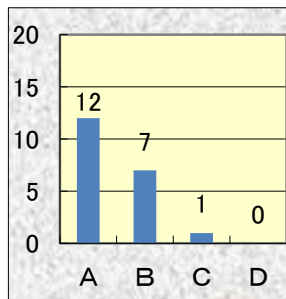
※ツアー参加者24名の内、アンケート回収20名(回収率:83%)

【問2】 各視察先について、視察先対象として評価(*A~D記入)をお尋ねします。
評価基準…A: 大変良かった、B: 良かった、C: 普通、D: 良くなかった

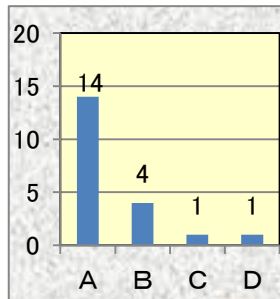




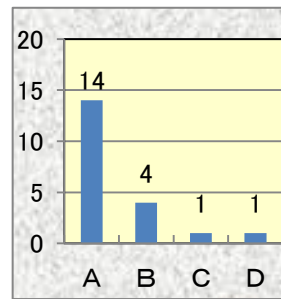
⑨



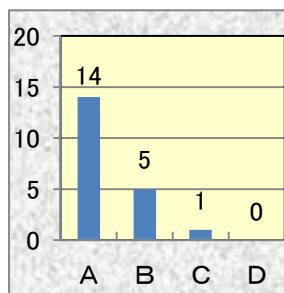
⑩



⑪



⑫



⑬

※イスラエル現地視察先

①イスラエル農業・地域開発省(セミナー開催)
②イスラエル農業研究所(セミナー開催)
③Hod Hsharon - Effi Ben-Yossef イチゴ農場
④Olesh - Uzi Teshova 水耕栽培農場(葉菜類)
⑤A・A・Politiv フィルム製造工場(Kibutz Einat)
⑥Arava Hatzeva 砂漠野菜地域研究所・Yair試験場
⑦トマト・パプリカ・トウガラシ・メロン等ハウス
⑧包装施設等
⑨Kibutz Kalia 野菜生産ハウス(チャイブ・有機トマト等)
⑩Moshav Naama 有機栽培のキュウリの生産農場
⑪Arkal Filtration Systems社(サンホープ関係企業)
⑫Netafim本社(セミナー開催)
⑬Achtuveのイチゴハンギング養液栽培ハウス

【問3】 視察先のどのような点が参考になりましたか？
 あるいは、どのような点が有意義でなかったですか？
 それぞれ、具体的な理由をお聞かせください。

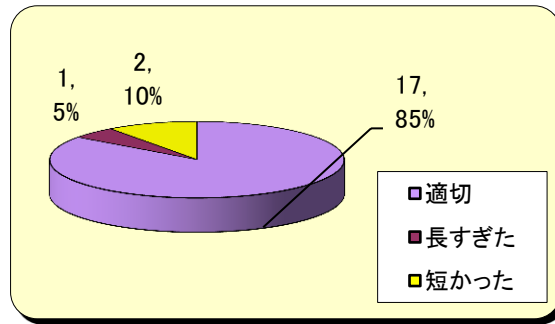
* 回答内容全文掲載

- ・最初に政府機関・研究所においてイスラエル農業の全体像概観説明をいただき、良く理解できイントロダクションとして大変良かったと思います。Politivフィルム工場の見学、Netafim本社でのプレゼンはとても参考になり良かった、研究所、企業等、やはり自己説明に大変優れ、プレゼン技術でも見習うこと多かったです。Aravaの半乾燥地農業の実情(の一部)、周囲まさに荒れ地の中で点滴節水技術の成果の施設園芸を実際に見られたことの意義は大変大きかったです。他方、ガリラヤへ北上すると辺りには緑が多く見られ、狭い国ながら多様な環境にあるのだなと実感した。上部構造の施設的には、気象災害もごく少ない国のように構造的なおもしろさはなかった。また、暖房、換気、環境調節技術などについては目に出来ず残念でした。世界的なIC大国でもあり、オランダに追従する環境調節大国かと思いましたが意外でした。
- ・②Postharvestの研究の紹介があったが、灌漑技術の最前線の紹介もあったと良かった。
- ・⑧施設建設や運営が補助金なしに行われているのは驚きであった。
- ・⑦⑨⑩ゴラン高原の火山性軽石の客土で栽培が行われていたが、スペインのアルメリアの栽培法を彷彿とさせるもので興味深かった。
- ・⑫hatzulenの方が良かったかも知れない(Drip Irigationの原理や改良についての実物を用いた良いデモンストレーションがある)工場内は撮影禁止だったし、セミナーは大変良かった。
- ・視察先の全体のバランスは絶妙でした。一つ一つの視察先も非常に良かったです。ただ、もしあげるとすると(事務局で調整できる班中ではないですが)⑤のフィルム工場では、商品の開発状況の部分をひろげていただくと良かったかもしれません。
- ・視察先の農家が、販売単価まで教えてくれる親切な農家でも良かったです。

- ・全体を通して大満足の研修でした。
- ・生産者のハウスを多く見ることができ、大変参考になりました。経営者ご本人の考え方を伺えたのがよかったです。できれば、露地野菜や果樹、切り花も見られると良かったと思います。
- ・砂漠地帯で野菜栽培に適さない環境を自国の技術で克服して有利販売までにつなげている。
- ・農業者が常に経営者としてコスト計算し、経営方針を立てている。
- ・イチゴハンギング養液栽培は、管理通路を無くしハウス全体を有効利用している。
(20,000本/10a通常の2~3倍)
- ・貴協会とOmar氏の強力な信頼関係、そこから生まれたOmar氏の柔軟、且つ幅広い分野でのアレンジ。その結果として、様々の品目をバランスよく視察できた点。
- ・視察先での説明者の真摯な態度、および、参加者自身の高い学習意欲、高い経験値。
- ・農業に関する知見をもった現地ガイドの起用が特に良かった。
- ・事務局の皆様の細やかな心遣い、高い意欲に感謝。
- ・農業生産者の生産現場を訪れ、現物に触れ直接生産者の声を聞いたことが一番です。
その中で、感じたことは主に下記5点。
 - ①砂漠地帯に、農業生産に必要な最低限の環境を揃え、ローコストで高生産性を達成していること。
 - ②国等からの補助金はない中で、経営が成り立つ条件から外れない様、ローコスト栽培技術の徹底や、市場で売れる作物の調査など、経営者と生産者の双方の役割をこなしていること。
 - ③政府の農業研究所が地域の次の作物技術を創り、生産者と一体になってイスラエルの農業を盛り立てている姿。
 - ④農業先進国と言われるイスラエルだが、中国や北アフリカなど安い労働力で低価格野菜を欧州に輸出する国が台頭しており、厳しい現実が垣間見えたこと。
 - ⑤何も手をかけなければ砂漠や沼地になる土地。そんな地に人の手によって森や畑ができています。事実を目に出来たこと。
- ・仕事柄ネタフィム、アカール等の訪問は大変参考になった。できればネット工場なども見れるとさらに良かった。
- ・厳しい自然条件下で、点滴灌漑技術等の先端的な技術を開発しつつ、施設園芸を発展させているイスラエルの状況及び訪問先の取組みは、オランダとは異なる見習うべき点があった。
- ・農業において最悪の環境の中で、創意工夫により環境を克服し、高い食料自給率を達成し海外にまで輸出している点が参考になった。必ずしもハイテクだけで達成しているのではなく、建国のエネルギーが根底にあることを感じた。また、点滴灌漑メーカーなどを視察しセミナーの開催等は大変有意義でした。逆境に負けず進化をとげていることは大いに参考になった。ガイドさんが大変素晴らしく、視察のみならず観光も大変良かった。ありがとうございました。
- ・イスラエルの農業の状況がよくわかった。高い燃料費、アフリカからEU圏への廉価な農産物の輸出量増大、劣悪な水質等の環境下で、いかに営農を続けていくか？ 現段階ではコストをしっかりと計算し、必要最小限の費用で効果をあげていく取組みがなされていた。また、単価の高い時期に合わせて品目を絞って輸出していくこと。また、スケールを大きくしていくこと。オーガニック等の付加価値をつけていくこと等々の努力がよくわかった。また、改めてイスラエルの灌漑技術の高さを思い知らされた。被覆フィルムについては、日本でも標準的な内容であり、もう少し変わった内容(ネットの開発について等)を知りたかった。少し残念だったのは、カラーネットの最先端の研究状況がもう少し知りたかったことである。恐らく、レポポットにあるヘブライ大学の研究所やベングリオン大学などでは、もう少し先端技術を取り扱っているのではないかと思われたが、今回の視察先にはなかったことが残念であった。
- ・ハウス等のハード面：思い描いていたより、古くさい設備に驚いた。
研究等のソフト面：後世へ残すため、今自分たちが苦勞してでも栽培技術を確立するという意気込みが伝わってきた。
実際に自分の目・耳で確かめないと本当のことはわからないと感じた。今回は、一生に一度と思い参加出来た事、施設園芸協会様・イスラエル大使館様の緻密な計画があつて無事研修を終えることができた。次回も参加したい考えです。今から社長へお願いしておきます。
- ・研究的な内容をもう少し詳しく知りたかった。フィルム⇔ネットの張り替えの労務コスト(費用・人数・時間)とその方法を見てみたかった。
- ・大変厳しい環境の中で、生きる為に各人が前向きに活動する姿。

【問5】研修ツアー期間としては、今回、休祭日3日を含む7日間(5泊)でしたが妥当でしたか？
(1つにレをつけてください)

- 適切
- 長すぎた
- 短かった



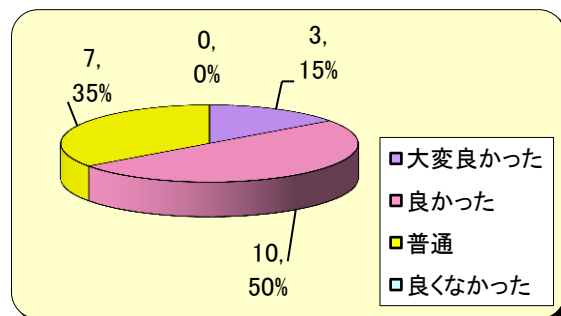
【問6】次回の海外研修ツアーでの希望を具体的にお書きください。

希望する国、場所は？ 何を見たいか？(どんなもの等)

- ・韓国(※セマングン干拓地等の現況や最近建設された日本向け大型ハウス団地等)
- ・韓国(干拓地の施設園芸の状況等)又は中国(山東省以外の施設園芸地域を含む)
- ・台湾:施設園芸や輸出用農作物の品質管理、アメリカ・シンガポール:垂直農業、施設園芸
- ・韓国:施設園芸、施設・栽培技術、一般の農業栽培
- ・中国(現在の技術と抱える問題の把握、日本ができることを明らかにするため)
- ・東南アジア、日本の競争相手そして野菜生産の現地を見たい。
- ・アメリカ西海岸のイチゴ栽培、中国の温室
- ・アメリカ、半閉鎖温室
- ・アメリカとメキシコ:施設園芸ハウス(野菜及び設備)
- ・北米の施設栽培と露地ネット栽培、メキシコ北部の商業的大規模農業の実態
- ・オーストラリア砂漠地帯の施設栽培
- ・欧州各国の先進農業、北アフリカの施設園芸や露地ネット栽培、ブラジル大規模農業
- ・イタリア(シシリー島の施設園芸)、トルコ(地熱利用施設栽培)、
- ・アメリカ(アリゾナ・乾燥地の施設園芸)+メキシコ大型施設園芸
- ・オランダ、プリバ社の設備が導入された最新のハウスを実際目にしたい。
- ・オランダ、高度な環境制御システム
- ・東欧
- ・ロシア
- ・世界各国のいろいろな農業を見てみたい。これから日本と手を組んでやっていけそうな国。
- ・暑熱対策をとりいれて、かつ効果を上げている国があれば見に行きたい。(具体的な国は不明)

【問7】今回のホテル及び食事面での評価をお尋ねします。(1つにレをつけてください)

- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった(期待はずれ)



【問8】 ホテル及び食事面で、どのような点が良かったですか？

あるいは、どのような点が良くなかったですか？

それぞれ、具体的な理由をお聞かせください。 ……（* 回答内容全文掲載）

- ・イタリアン、中華、日本食など結構美味しいレストランもあるが、イスラエルに来たからにはパサパサでも現地の料理を味わうべきだと思う。その意味ではとても良かった（味はともかく）
- ・宗教の制約で食べる種類が何処に行っても同じで、少し飽きてしまいましたが、それでも食事は濃い味でも辛い味でもなく、比較的日本人の味覚に合っていたので食べやすかったと思います。ホテルはエレベーターが効率的に運用されておらず、時間がかかることが朝の混む時間帯で特に気になりましたが、それ以外は快適でした。全般的には事務局の皆様にお世話になり、とても助かりました。とても感謝しています。
- ・毎日、ほぼ朝、昼、晩と現地料理のバイキングが続いたが、何日かはコース料理の方が良いかもしれません。また、好き嫌いが少なく、単価も高くないイタリアンを挟んだ方が変化があって良いかもしれません。
- ・料理は食べやすかったが、毎回同じような内容なので、多少飽きた感じがあった。
- ・イスラエルの政情、スケジュールを考えるビュッフェスタイルが多くなった点は、やむを得ないと思いますので、その点を考えると十分満足しています。旅の楽しみの一つはその地域の食べ物を食することと、飲んで楽しい会話が出来ることではないでしょうか。次回を楽しみにしています。
- ・宗教の制約を受けた料理は、お世辞にも美味しいとはいえないものであった（肉はパサパサで旨味がない等）が、経験としては面白かった。精進料理同様、美味しさを追求したものではないので。
- ・ホテル内での中東料理が多かったの外のレストランで食事しても良かったのでは。
- ・朝、夕は自分で量を調節できたので良かった。ホテル以外はやはり日本人には多過ぎました。
- ・ホテルでの夕食時は少なくすると良い（その国の物をもう少し食べたかった）
- ・野菜が多く出ていた、食事の味が殆ど同じだった。
- ・ホテルは概ね満足です。水が足りない国にしては、どこのホテルもバスタブ付き、熱い湯に漬かれました。食事はホテル朝食ビュッフェでの色とりどりの野菜（特にパプリカが美味）に感心。2&3日目の昼食は正直まずかった。ホテルでの夜の食事（ビュッフェ）は混雑もあり、また食材内容も単調で良くありませんでした。スペイン・オランダ・ベトナムツアーでは美味しい食事ができたので、余計に今回は食事は良くなかったと感じました。
- ・ホテルについては無料のwifiが整っていると良かったです。
- ・全体的に良かった。良かったのもう少し滞在したかった（一泊ではもったいない）
- ・部屋が広く一人部屋のため、ゆっくりできたので良かった。また、朝食は乳製品や野菜が豊富な点が良かったと思います。飲み物も充分いただきました。
- ・1日目、2日目のホテルで、窓が閉まらない、セーフティボックスが壊れている等ありましたが、いい経験になった事、ツアー参加費が安価で大変良かったと思います。
- ・カードキーが機能しなかった。バスタブに清潔感が無かった。荷物を時間までに出しても持って行ってくれないことがあった。食事はけっして美味しいとは言えないが、文化なら仕方ない。
- ・テルアビブ、エンケボックのホテルはきれいでサービスが良かった。食事はエルサレムの朝食がきれいで美味しかった。
- ・良い点：広くきれいなホテル、良くない点：特になし、量は多過ぎ？
- ・特に問題はありません。

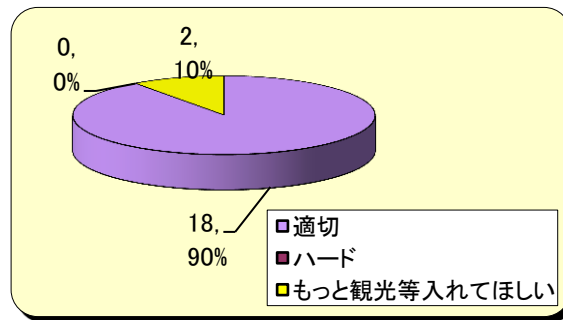


【事務局より】

上記のとおり、食事面に関しましては、今回はテルアビブ以外は朝・夕食がホテルのビュッフェ方式になってしまい大変申し訳ありませんでした。出発直前まで検討致しましたが、イスラエル国内（テルアビブ以外）の地方都市での外の夕食で万が一のことがあってはと考え、安全第一を優先させて頂きました。ただし、ご指摘頂きましたように中東料理の連続ではちょっと飽きてしまいましたね！海外へ行くと、やはり食事は世界に誇れる和食が一番とつくづく思います。

【問9】 今回のツアーは、スケジュール的にどうでしたか？（1つにレをつけてください）

- 適切
- ハード（詰め込み過ぎ）
- もっと観光等入れてほしい



【問10】 今回の研修ツアーの感想及び今後の研修ツアーを行う場合の運営上の改善点・ご意見・研修ツアーに期待するものなど自由にお書きください。

.....（* 回答内容全文掲載）

- ・事務局の皆様には、大変感謝しております。メンバーにも恵まれ、一生の思い出ができました。ありがとうございました。
- ・イスラエルのコーディネートをしていただいた方々、日本施設園芸協会の事務局の方々のお陰で、大変充実した視察でした。また期待しております。
- ・もっと広く農業者（特に若者）の参加があれば農業経営に参考になるのでは。
- ・研修準備段階・期間中を通じ、大変お世話になりました。気づいた点として、事務局の方からお話がありましたが、今回ガイドさんが農業資材を担当していた経緯があり、かなり専門的な話までついてきたことも良い点でした。次回以降、事前に関連資料一式を入手し、想定される質問事項を事前にガイドさんに渡しておけば、今回の様なガイドさんがいない場合でもスムーズに進行していくのではないかと感じました。
- ・多くの方とお話ができた事が世間知らずの私には財産となりました。自分自身もう少し予習をしてから行けばもっと吸収できたのでは？と反省。行先はどこでも構いませんが機会がありましたらまた参加させていただきたいです。
- ・大変細やかにご配慮頂きまして何も滞りなく参加させて頂きました。主催者の皆様には感謝申し上げます。また、資料や写真、レポートも纏めて送付頂き大変助かります。ありがとうございました。
- ・とても快適に旅をさせていただき、感謝です。ガイド兼通訳の西郷さんにとってもお世話になりました。今後また参加したいと思いますが、金額面ではちょっときついですね。料金体系を2段階にして、ホテルをシングルタイプとツイン2人部屋タイプに分けて、格安コースを作ってくれたら参加しやすい人も出てくるかもしれません。
- ・篠原会長、戸谷事務局長、平島企画部長のご尽力大変なもので非常に有意義な研修ツアーに参加できました。イスラエル大使館との事前折衝、現地のOmarさんらとの詳細な打合せがあったことと思います。正直他にはないとても良い企画であると確信します。本当に有難うございました。
- ・準備、運営に大変な気づかい頂き、ありがとうございました。
- ・次回以降のガイドさん探しが困難になりそうな程、良かったので、次回ガイドさんへの期待が大きくなりすぎるかもしれない。
- ・今後もこのようなクオリティーの高い研修であってほしいと思います。人生のターニングポイントかもしれません。やはり聖地の力はすごいと感じました。
- ・4回目の参加となりましたが、門外漢の私にとって大変有意義なツアーに毎回参加させて頂き、感謝いたします。少しずつですが、施設園芸という農業形態を理解できるようになりました。また、それぞれの国や企業がおかれた条件に適応した技術や営農形態をとっていること、熾烈な国際競争の中で栽培技術を経済性を考慮しながら経営している点は学ぶべきと思いました。今回のツアーはかなり時間的制約の中で盛りだくさんの内容となりましたが、十分堪能致しました。エルサレムの市内視察と道中は今日の中東情勢や宗教における宗派間闘争を考える上で大変勉強になりました。これも優秀なガイドさんのお陰だと思います。スペインでもそうでしたが今後とも

素晴らしいガイド・通訳と出会えますようお願い致します。小生はイビキが大きいので個室対応は気兼ねなく眠れるのでありがたいです。次回を楽しみにしています。

- ・協会の皆様や現地ガイドの西郷さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。
- ・準備が可能と想定して記入します。(ホテルでの食事中にビンゴ大会、4人くらいを1チームにして、食後に簡単なレクリエーション(チーム対抗)*連想ゲーム、イスラエルと言え！等)親睦を深めるためにはいかがでしょうか？
- ・施設園芸協会ですので無理なご相談とは思いますが、その地域の適した農業を理解するという視点から代表的な露地栽培も見たいと思います。施設園芸にしても露地栽培にしても、実際に生産者が農作業している現場を見たく思います。今回の訪問では経営者の話は聞くことができましたが、実際に働いているところはあまり見れていません。その点が残念でした。なお、現場訪問を中心とされている点はとても素晴らしいとこで、今後もこのような視察研修であることを期待しています。技術面で進んでいる所、規模で効率化を図っている所、安価な人の手で上手くオペレーションしているところ、情報収集で利益の出る農業を実施している所など、特徴ある農業現場を訪問したく思っています。
- ・古田最高顧問がホテルの部屋の割当てで、キャンセルした人の名前になっていて気分を害されていたが今後気を付けたいと思う。



【事務局より】

研修ツアーの感想・貴重なご意見を多数頂きありがとうございました。

上記にあります様に、今回のイスラエルツアーは、計画段階でのイスラエルの政情不安等があり、出発直前まで気をもみましたが、イスラエル大使館の原田上席商務官様及び現地視察先をコーディネートして頂きましたイスラエル農業・地域開発省のOmar Zeidan氏のお陰で、研修・視察先としては、イスラエルの行政/研究機関・施設園芸生産現場・灌水メーカー・フィルムメーカー等まで、数多く足を運ぶことができました。

駆け足ではありましたが、イスラエルの各行政・研究機関との意見交換や南部のアラバ砂漠地帯に広大に広がる施設園芸団地、世界のマイクロ灌漑市場をリードするイスラエルのメーカーとのセミナーの開催等々、この7日間の研修でくまなく視察、情報収集でき、参加者の皆様にとって満足いただける研修ではなかったかと思えます。

特に今回は現地でガイド兼通訳をして頂いた西郷さんのお陰で、バス車内でも退屈することもなく聖地イスラエルの歴史も若干でも勉強できたことは、個人的にも大変有意義なものでした。

皆さまから頂きました、上記の貴重なご意見をもとに、来年からの海外研修ツアーをさらに良いものになりたいと考えます。

● 2014 イスラエル施設園芸現地研修ツアー 行程表

日次	月日 (曜日)	地 名	現 地 時 刻	交通機関	日 程	食事		
						朝	昼	夕
1	11/22 (土)	成 田 / 福 岡 成 田 / 福 岡 出 発 ソウル(仁川空港)着 テ ル ア ビ ブ 着	9:10/10:30 11:50/12:00 15:00 20:30	KE706/787 KE957 専用バス	成田空港(7:10)/福岡空港(8:30)へ各自集合 空路、ソウル(仁川空港)へ 【所要時間:2時間40分/1時間30分】 ソウル(仁川空港)到着、乗り継ぎ 空路、テルアビブ(ベン・グリオン空港)へ 【所要時間:12時間20分】 着後、テルアビブのホテルへ 《テルアビブ泊》	-	機内	機内
2	11/23 (日)	テルアビブ及びテルアビブ近郊	8:00 8:50 10:00 12:00 14:00 14:45 19:00~	専用バス	ホテル発 イスラエル農業・地域開発省(セミナー開催) イスラエル農業研究所(セミナー開催) Hod Hsharon - Effi Ben-Yossef イチゴ農場 昼食 Olesh - Uzi Teshova 水耕栽培農場(葉菜類) ホテル到着後、テルアビブ市内で夕食(海鮮料理) 《テルアビブ泊》	○	○	×
3	11/24 (月)	テルアビブ近郊 ↓ エルサレム近郊	8:15 8:50~ 10:30 12:00~ 13:30 15:00~ 17:30 夕刻	専用バス	ホテル発 A・A・Politov ポリエチレン工場(Kibutz Einat) エルサレム市内スーパー 昼食 エルサレム市内観光 (旧市街、神殿の丘、嘆きの壁、聖墳墓協会) ホテル着 《エルサレム泊》	○	○	○
4	11/25 (火)	エルサレム近郊 ↓ アラバ近郊 ↓ 死海近郊	7:00 10:15~ 12:00 12:00~13:45 14:00 16:15 16:30~	専用バス	ホテル発 Arava Hatzeva 砂漠野菜地域研究所 Yair試験場 トマト・パプリカ・トウガラシ・メロン等ハウス、包装施設等 昼食 ホテル着 死海散策(浮遊体験等) 《死海(エンボケック)泊》	○	○	○
5	11/26 (水)	死海近郊 ↓ 北部地域 ↓ ガリラヤ近郊	7:15 9:00 10:30 13:00 14:30~ 16:00 夕刻	専用バス	ホテル発 Kibutz Kalia 野菜生産ハウス(トマト、チャイブ等) Moshav Naama 有機栽培のキュウリの生産農場 昼食 Arkal Filtration Systems社(サンホープ関係企業) ホテル着 《ガリラヤ泊》	○	○	○
6	11/27 (木)	ガリラヤ近郊 ↓ テルアビブ近郊 テ ル ア ビ ブ 発	7:15 9:15~ 12:30 13:00 14:00~ 22:10	専用バス KE958	ホテル発 Netafim社で本社、実験農場、機材の試験設備等 (Kibutz Magal) 昼食 Achtuveのイチゴ栽培農場 テルアビブ市内を経由して空港へ 空路、ソウル(仁川空港)へ 【所要時間:10時間30分】	○	○	○
7	11/28 (金)	ソウル(仁川空港)着 成 田 着	15:40 17:40/18:40 20:00/19:55	KE001/781	ソウル(仁川空港)到着、乗り継ぎ 空路、帰国の途へ 【所要時間:2時間20分/1時間15分】 着後、通関、解散	機内	機内	機内